

幹線道路の防災・震災に対する安全・安心確保に関する計画(防災・安全)

(事業区分: 災害防除・橋梁補修・道の駅・交通安全)

1. 地域(または長野県)の現状と課題

【現状】

長野県の面積は13,500km²、全国4位と広く、道路は延長48,000km全国5位と長い。また本県は山岳県であり、山地部の道路が多いことから、落石等危険な法面や橋梁・トンネル等の大規模な道路構造物が多い。(H23県・市町村管理数計: 橋梁21,799橋、トンネル468箇所) 近年、牛伏寺断層を含む糸魚川静岡構造線による大地震発生の危険性が指摘されており、道路やライフラインの寸断等の緊急時の備えが急務である。

【課題】

山岳県である本県は、山間部の急峻な地形の箇所を通過する道路が多いことから、これまで、改築事業による橋梁整備や防災事業による落石危険箇所の法面对策等に取り組むとともに、近年は、老朽化対策として長寿命化修繕計画を策定し、補修工事を進めているところである。

緊急輸送路における橋梁の耐震補強については、概ね順調に進んでいるものの、橋梁補修については、工事着手後に新たな損傷が見つかるなど追加対策に伴う工事費の増により全体計画に遅れが生じている。

落石危険箇所については、落石等による道路施設の損壊や道路利用者の物損事故等が頻発しており、H8道路防災総点検対策箇所の対策が急がれる中、近年は老朽化した吹付法面の修繕も必要となっている状況である。

2. 計画の目標

確実な交通確保と情報提供等を行い、道路の総合的な防災対策を推進する。

3. 事業の内容

【計画の期間】 平成23年度～平成27年度(5年間)

【事業実施主体】 長野県

【計画の成果目標】

計画の成果目標	H23(現況値)	H27(目標値)
落石等危険箇所、橋梁要補強箇所、情報提供装置箇所数	0 箇所	26 箇所

【事業の主な内容】

基幹事業 : 落石・法面对策、橋梁補修、防災施設整備(道の駅)、道路情報カメラ設置

【箇所数と事業費】

	県		市町村		計	
基幹事業	26箇所	23.2億円	0箇所	0億円	26箇所	23.2億円
関連社会資本整備事業	0箇所	0億円	0箇所	0億円	0箇所	0億円
効果促進事業	0箇所	0億円	0箇所	0億円	0箇所	0億円
計	26箇所	23.2億円	0箇所	0億円	26箇所	23.2億円

※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります

4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

計画の成果目標	H27(目標値)	H27(実績値)
落石等危険箇所、橋梁要補強箇所、情報提供装置箇所数	26 箇所	26 箇所

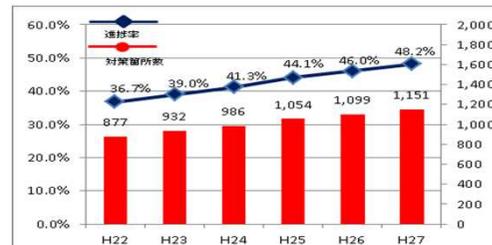
■事業効果の発現状況

落石等危険箇所	10箇所中 10箇所実施(H8道路防災総点検対策箇所19箇所完了)	落石の危険がある9路線の安全性が向上した。(事例①)
橋梁の要補強箇所	8箇所中 8箇所を実施(実施橋梁数15橋、うち耐震補強8橋)	緊急輸送路8路線の安全性が向上した。(事例②)
防災施設整備(道の駅)	1箇所中 1箇所実施(10駅)	駅所在10地区の防災機能がアップした。(事例③)
情報提供装置箇所数	7箇所中 7箇所(カメラ38基設置)	道路利用者への情報提供サービスが向上。(事例④)

■関連する事業の効果の発現状況

§ 落石危険箇所の進捗について

・H8道路防災総点検(落石崩落、岩石崩壊) 対策箇所が274箇所完了、整備率11.5%上昇(要対策2390箇所中、H22末時点877箇所完了)



§ 橋梁補修の進捗について

・長野県橋梁長寿命化修繕計画(第1期) H20～H24
H24末進捗率 98% (115/118橋)
(第2期) H25～H29
H27末進捗率 44% (116/264橋)

・震災対策点検(H7～H9)に基づく、緊急輸送路の耐震補強未対策橋梁(H22末)は37橋。うち、H27年度末で33橋の対策が完了。

・耐震補強対策の県全体進捗率98%。(要対策189橋、H22末時点152橋完了)

5. 評価と今後の方針

対策工事の実施により目標を達成できた。

緊急輸送路の橋梁耐震補強については、残る3橋が架替工事中、1橋は計画中であり、引き続き早期完了を目指し事業を推進する。

落石危険箇所及び老朽化吹付法面の対策については、定期的な点検を実施するとともに、斜面の危険度及び路線の重要性等を勘案し順次工事を進めていく。

幹線道路の防災・震災に対する安全・安心確保に関する計画(防災・安全)

(事業区分: 災害防除・橋梁補修・道の駅・交通安全)

整備効果事例

事例① 災害防除事業 (主)駒ヶ根駒ヶ岳公園線 宮田村～駒ヶ根市 北御所



観光路線の吹付法面
が劣化!
崩落の際には登山者
孤立の恐れも



計画的な維持補修による斜面の安全確保
とライフサイクルコストの縮減

事例② 橋梁補修事業 (主)伊那生田飯田線 伊那市 竜東橋



大地震の際、橋梁が落橋し、緊急輸送路
が通行不能に!
被災者の避難、救助や緊急物資の輸送
等に支障が生じるおそれ

橋の桁を連結して、落橋を防止



幹線道路の防災・震災に対する安全・安心確保に関する計画(防災・安全)

(事業区分: 災害防除・橋梁補修・道の駅・交通安全)

整備効果事例

事例③ 道の駅事業

(国)151号 阿南町 信州新野千石平



「道の駅」の防災機能を強化
地震などの災害発生時に活用
・道路寸断による帰宅困難者の一時避難
・被災地支援の物資輸送基地

○防災倉庫

発電機、投光器、土のう袋、ビニールシートなど備品配備



○防災井戸

ライフライン寸断時などの
避難者の生活用水を確保



○仮設トイレ



事例④ 交通安全対策事業カメラ設置事業

(国)148号 大町市～小谷村 大町～県境



大雪などの異常気象時に
・目的地に向かう道路の情報が欲しい
・自分の目で確認したい

道路利用者は県HPの
「道路情報広場Nagano」
より、現在の気象状況や
路面状況等を確認できる。



除雪業者も出動の判断に活用できる。